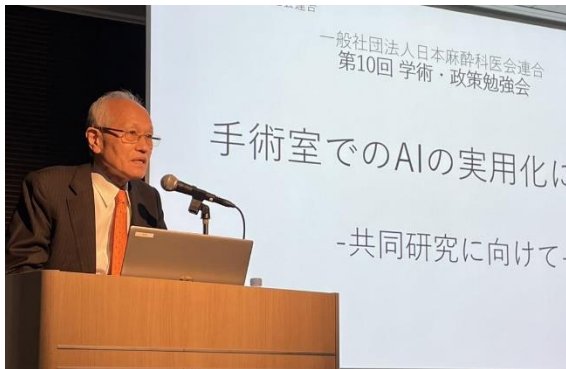


第10回学術・政策勉強会



挨拶 武田 純三代表理事

第10回学術・政策勉強会を令和5年11月4日(土)に日比谷国際ビルカンファレンスで開催しました。テーマは「手術室でのAIの実用化に向けて-共同研究に向けて」で、11月でしたが、約80名の参加者がありました。最初に武田純三代表理事の挨拶、ならびに今回のテーマの主旨について述べられました。

演題1は、「AIホスピタルの社会実装に向けて」と題して、前日本医師会副会長の今村聡先生による講演で、AIホスピタル評価委員会委員長としての経験から、AIホスピタル事業の全体像や今後の国の動きについてお話しいただいた。AIの社会実装の為に、既に京都大学のLDIと日本医師会のJ-MIMOが患者情報の収集が始まっているとのことでした。



講演1 今村 聡先生 前日本医師会副会長

演題2は、国立成育医療研究センター麻酔科の鈴木康之先生の「麻酔分野におけるAIの実用-小児病院におけるコミュニケーションロボット活用の有用性の検証-」と題する講演で、タブレットによる麻酔前説明と同意や、ロボットによる手術室の案内を行っており、子どもの不安軽減や麻酔科医の負担軽減など、成果を上げているとのことでした。

演題3は、慶應義塾大学病院 医療連携推進部次長の片岡美樹さんから、「AIホスピタル事業 入院管理システム導入の効果と課題」と題して、院内データの可視化を目的としてCommand Centerとして院内データを可視化して、入退院・病床管理を行って病床運用を効率的に行っていることが示されました。GEと富士通の協力を得て、病床稼働率の向上、看

護師のタスクシフト、患者ケアの向上を目指していると報告されました。



講演2 鈴木 康之先生
国立成育医療研究センター麻酔科



講演3 片岡 美樹先生
慶應義塾大学病院 医療連携推進部次長

演題4は、東北大学病院 麻酔科の山内正憲先生が「ヒト・情報・働き方のAI マネジメント」と題して、東北大学麻酔科が取り組んでいる事例の紹介がなされました。ビッグデータ解析と術後評価の自動化、労務管理の自動化・データ利用、on-job トレーニング、遠隔教育など、幅広い領域でAIの利用に取り組んでいることが紹介されました。

コメンテーターは、これまで教室の方針として「効率的な手術運営」をテーマに、手術室の標準化や手術進捗管理システムなどを取り入れられてきた東海大学麻酔科の鈴木武志先生にお願いして、全体の取りまとめと、AIへの取り組みの必要性が話されました。



演題4 山内 正憲先生
東北大学病院 麻酔科



コメンテーター 鈴木 武志先生
東海大学医学部附属病院 麻酔科

休憩時間を利用して、上村裕一先生の司会でエドワーズライフサイエンス社により、低血圧イベント予測システムと Index について説明がなされました。続いて、企業共催セミナーはエドワーズライフサイエンス株式会社による「術中低血圧と予測機能」で、札幌医科大学の

吉川裕介先生による「Hypotension Prediction Index(HPI™)を用いた術中低血圧と予防効果」と題して、低血圧発生予測の意義と、問題点について講演をいただきました。



企業共催セミナー講演：吉川 裕介先生
札幌医科大学医学部麻酔学講座



企業共催セミナー座長：藤野 裕士先生
大阪大学大学院医学研究科

最後に長坂安子 ICAPS2024 実行委員長より、現在の ICAPS2024 の準備状況について説明がなされ、森田潔事務局長による閉会の挨拶の後、懇親会を開催しました。



長坂 安子先生
ICAPS2024 実行委員長



森田 潔事務局長

【次回の開催情報】

年次集会 2024 (第 11 回学術・政策勉強会) 日時：2023 年 11 月 9 日(金)～11 日(日)

開催場所：京王プラザホテル (アクセス：<https://www.keioplaza.co.jp/access/>)

※ICAPS2024 <https://www.c-linkage.co.jp/icaps2024/> 共催いたします。